

紹介



## 東京驛前の交通整理に就て

警視廳交通課長 藤岡長敏

歩行者や車馬を亂雜に同一の場所を通行せしめると云ふことは、交通能率増進の上から云つても、事故防止の上から云つても、出來得る限り避けたいことである。交通が頻繁であればそれだけ益々歩行者と車馬との通路を區分する必要があるが切になつて來る。

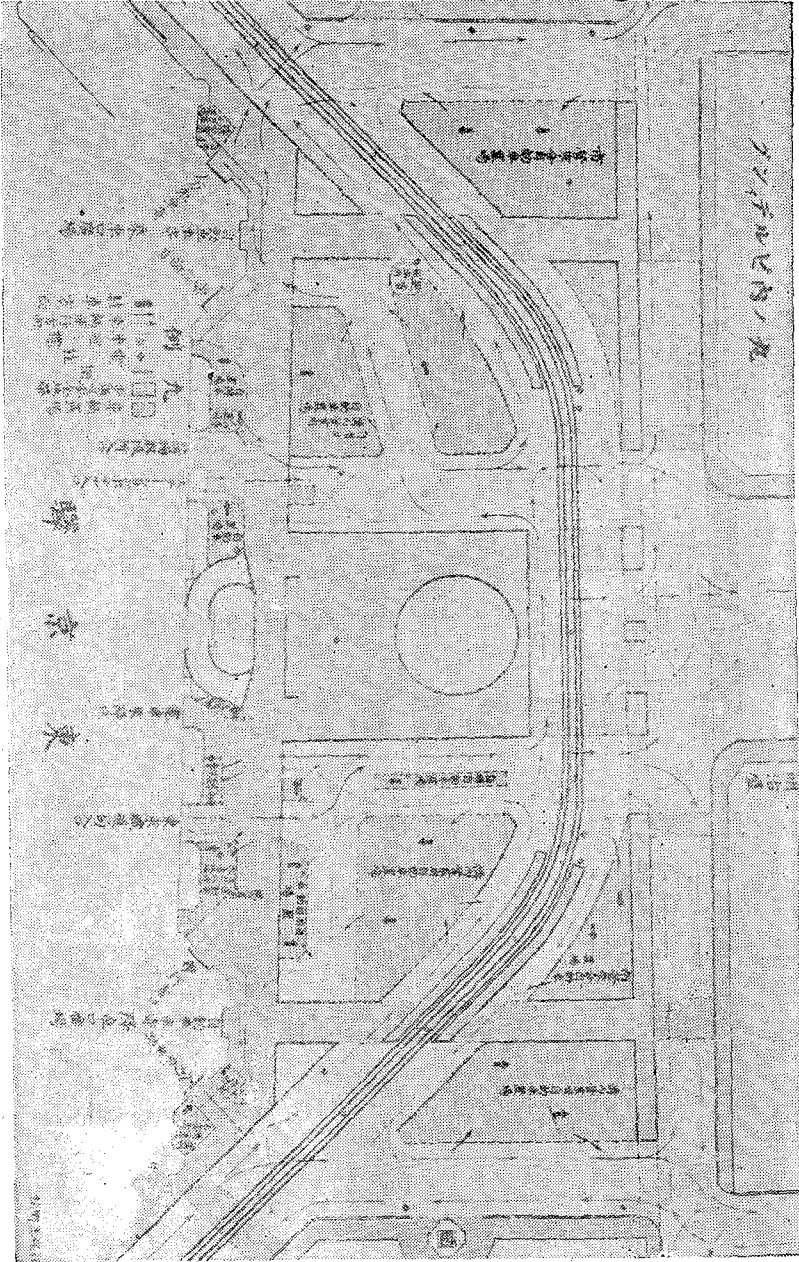
れば、單純に交通の問題のみから考へて、更に條件が好いと云はねばならぬ。

同じく歩車道の區別があるにしても、その通行する車馬の種類速度に依り、又その方向に依つて通路が區分せられて居

以上の前提の下に、東京驛前の廣場を見て貰ひ度い。毎日數千の歩行者が來往し、數萬の車馬が集散する。しかも何等の通路的區分が設けられてゐない。人も車馬も各自分の好む方向に向つて、最短距離を選んで通りたがる。一度あの廣場に立つた時、前後左右から、自動車人力車荷車自轉車等に、

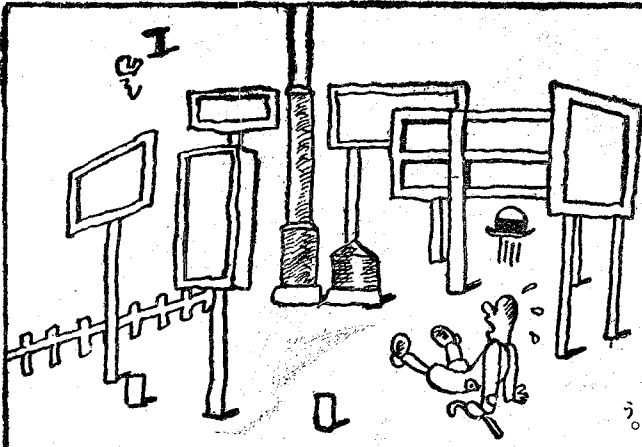


東京驛前次通線地理圖



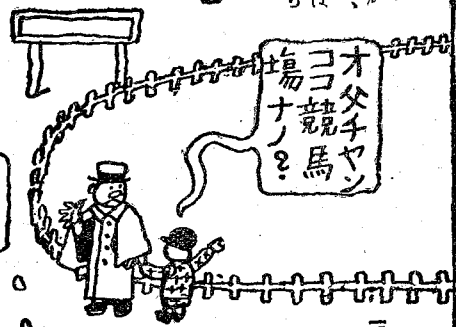
● 漫画家の観た東京驛前交通整理

一 曰く人道、曰く車道、曰く左側通行、曰く丸ビル方面、曰く海上ビル方面、曰く降車口、曰く乗車口、曰く曰くの立札の行列にたいがい、神經の弱い人は眼を廻すだらう。



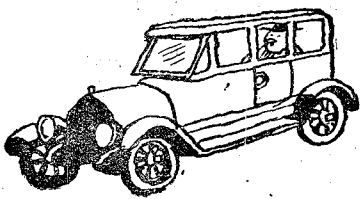
二 此混雑な中央に競馬場があるかなんて常識で考へたつて判らなかつたが中央にカコイをしてあげてあるから驚く。

此混雑な中央に競馬場があるかなんて常識で考へたつて判らなかつたが中央にカコイをしてあげてあるから驚く。



三 お客にそつと新米交通巡査が此六敷い場所を聞いて居た。お客は教へた後「仕方がありませんよ僕だつてこれだけ覺へるのに一週間掛りました。」





四

車道にブーッ  
ブーッと一臺の自  
動車、人道に車に乗れ  
ないプロさん達が死物狂ひの混  
雑思想善導の世の中にこれでも  
危険思想を想ふ者はないと云ふ  
のか。



五 笑ふべからず泣いて此交通の不整理を見よ始めて  
の車屋さんならキツト眼を廻す事受合ひ。

5

